

地震 予想外の連鎖



約2m右にずれた

16日のM7.3の地震で地表に表れたとみられる断層＝益城町

16日午前3:55 M5.8 最大震度6強

16日午前1:45 M5.9 最大震度6弱

16日午前9:48 M5.4 最大震度6弱

14日午後10:07 M5.8 最大震度6弱

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

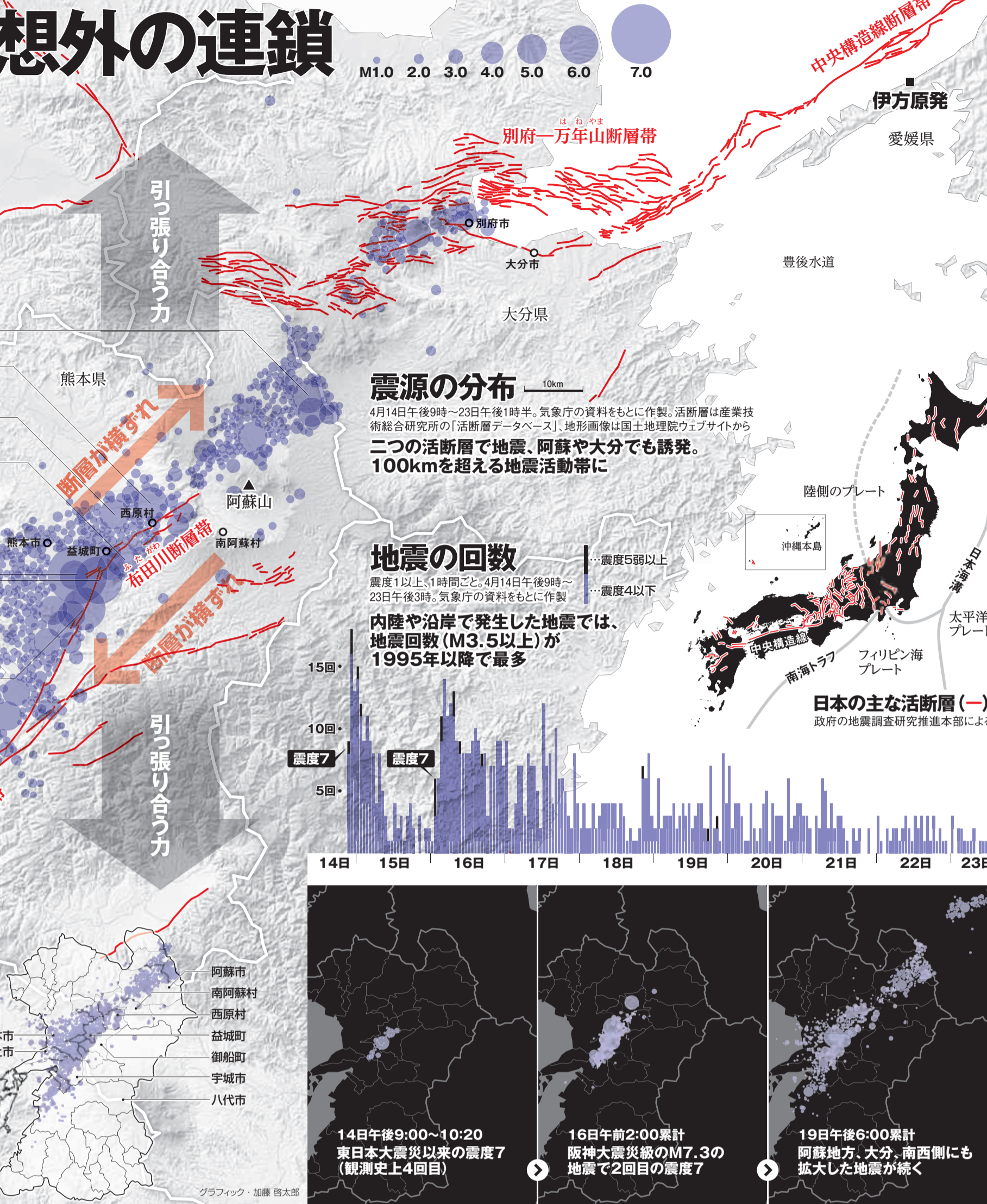
15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

14日午後9:26 M6.5 最大震度7

15日午前0:03 M6.4 最大震度6強

16日午前1:25 M7.3 最大震度7

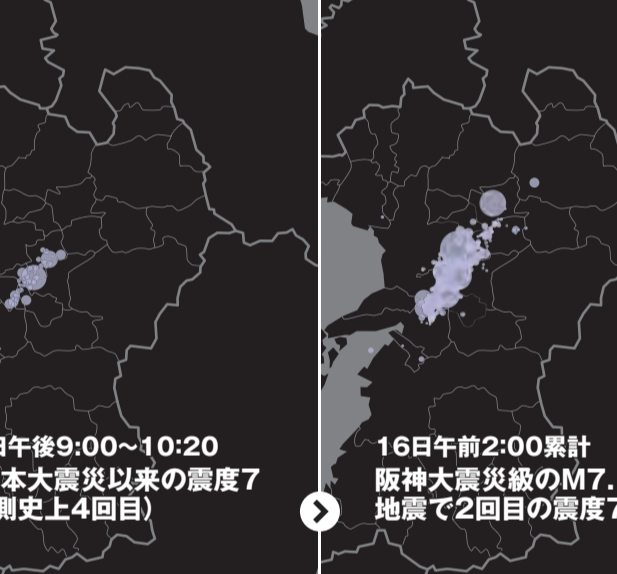
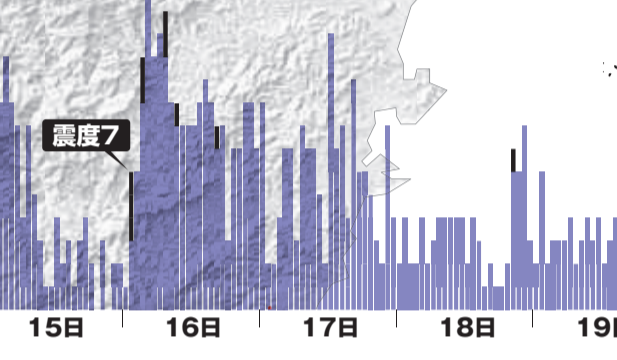


震源の分布
4月14日午後9時～23日午後1時半。気象庁の資料をもとに作製。活断層は産業技術総合研究所の「活断層データベース」、地形画像は国土地理院ウェブサイトから

二つの活断層で地震、阿蘇や大分でも誘発。100kmを超える地震活動帯に

地震の回数
震度1以上、1時間ごと。4月14日午後9時～23日午後3時。気象庁の資料をもとに作製

内陸や沿岸で発生した地震では、地震回数(M3.5以上)が1995年以降で最多



震源域東西に拡大

熊本県を中心に、地震活動が活発な状態が続いている。震度7を2回観測したうえ、震源が広範囲に広がる異例の経過をたどったのが今回の地震の特徴だ。

最初のマグニチュード(M)6.5の地震があったのは14日夜。その1日あまり後の16日未明にはM7.3の地震が起きた。いずれも活断層が動いた震源の浅い地震で、断層周辺で建物や土砂崩れなどの被害が目立っている。

震源域は北東側の大分県や南西側にも拡大。九州を横切るように「100kmを超える地震活動帯ができた」(加藤照之・日本地震学会会長)状態だ。

これまでに起きた地震は800回を超え、震度5弱以上は28日午後6時までに17回。続発する地震への不安が、避難の長期化につながっている。

見通せぬ先行き

「いまは地震の先行きは見通せない。引き続き激しい揺れが起こるものとして備えてほしい」。気象庁の青木元・地震津波監視課長はこう繰り返している。最初に最大の地震が来て、次第に余震が収まる通常のパターンは当てはまらない。今回並みに地震回数が多かった2004年の新潟県中越地震では、約2カ月後に震度5弱を観測している。気象庁は、今回も数カ月単位で活発な地震活動が続く可能性もあるとみている。

今回動いた活断層の延長線上でひずみがたまり、別の活断層が大きな地震を起こすおそれも指摘されている。東には、四国を東西に横切る中央構造線断層帯、西には、最初の地震で一部が動いた日奈久断層帯の残りの部分が連なっている。

活断層、全国各地に

将来地震を起こすおそれのある活断層は、全国に2千以上ある。1995年の阪神大震災(M7.3)や2014年の長野県北部の地震(M6.7)でも、今回と同様に断層のずれが地表に現れた。

政府の地震調査委員会は主な97断層を選んで地震規模の想定や発生確率を公表しているが、未知の活断層による地震も繰り返される恐れはある。

一方で、南海トラフ地震のようなプレートの沈み込みによる巨大地震も忘れてはいけない。M8.9級と規模が大きく、広範囲に強い揺れや津波をもたらす。

教訓 被災者は語る

本震から1週間が過ぎたが、いまもお熊本県内だけで約6万7千人(23日午後1時半現在、県まとめ)が避難所や車中泊での不自由な生活を強いられている。突然襲ってきた地震。避難時に役立ったこと、逆に足りなかったこと、そして今必要なことは――。被災者に聞いた。(＝は避難場所)



南阿蘇村、運転手、藤本賢一さん(65) 自宅は倒壊の危険があると判定された。家中のガラスが割れてしまい、飛散防止フィルムを貼っておけばよかった。枕元にラジオを置いていたので持ち出すことができた。真っ暗な中でラジオの情報が何より大事だった。生まれたばかりの子牛が心配で避難所には行けない。備蓄していた米やレトルト食品を食べているが、体調が不安だ＝自宅前で車中泊



南阿蘇村、主婦、中尾出津子さん(73) 14日の地震後、「もう大きな地震はない」と油断して避難せず、自宅にいた。本震で起きた土砂崩れで、自宅の半分が押し流され、台所に置いていた携帯電話もなくなり、助けを呼ぶことができなかった。枕元に置いておくべきだった。入れ歯も見つからず、避難所生活では食べ物はあるのに食べるのに苦労した＝熊本市北区の次男宅



益城町、建築士、平山利行さん(61) 釣りやキャンプが趣味で、ワゴン車に、水を入れた5Lのポリ容器を積んでいて役に立った。だが飲み水以外に手を洗ったり、トイレを流したりするとすぐになくなってしまった。もっと必要だった。今は避難所のトイレを使っているが、衛生面が心配。炊き出しなどだけでなく、避難所では掃除の仕方など衛生面での指導してほしい＝安広小学校



益城町、無職、松本ミカ子さん(69) 阪神大震災(1995年)を経験し、食料品や栄養ドリンク、下着などをリュックに入れていた。しかし台所に置いていて、前震のときも本震のときも、そこまで頭が回らず、避難時に持っていけなかった。必需品は車に移しておくべきだった。ペットの猫が心の支え。避難所に洋式トイレや洗濯物干し場がもっとあれば良いと思う＝町総合体育館



益城町、高校2年、白石湧人さん(17) 東日本大震災後、寝袋や水、乾パンなどを備えていた。前震で家の壁にひびが入り、近くの公園へ避難。スマホの充電ができず、連絡が取れなくなってしまい、同級生に心配された。車のシガーソケットで使える充電器に助けられた。防災グッズをまとめておけば便利だった。3着ほどの下着や服を着用して気持ちは悪い。今は衣類がほしい＝益城中学校

ラジオ情報何より大事・携帯、枕元に置いておけば・必需品は車に移して

ポリ袋を支援物資入れに・懐中電灯は手放さないで・手の届く所に履物を



熊本市西区、小学5年、阪口弘基さん(10) 2回目の大きな地震の後、すぐにマンションを出て、車の中で家族と一緒に過ごした。部屋の中だと、本やお皿が落ちて怖いから。車は避難する場所で役に立ったけど、こういう時のために車の中に食べ物も用意しておけばよかった。地震の後、学校はずっと休み。早く放課後の部活で、友達とバスケットボールをしたい＝熊本市北区の親戚宅



熊本市西区、会社員、片山学さん(59) 本震が起きて以来、ずっと車中泊を続けている。妻や娘はストレスを感じてきているので、早く屋根のある家で眠りたい。地震後、多くの友人や親族に助けられたことが一番大きい。友人の会社のシャワーを貸してもらったり、食料を運んでもらったり……。友人たちがいなければ心が折れていたと思う。本当に感謝している＝アクアドームくまもと



熊本市東区、主婦、東坂玲子さん(77) 戦争での食料不足の経験から、非常食や風邪薬、ポリ袋などを入れたリュックやカップ麺を備えていた。14日の地震の後、リュックを持って避難した。ポリ袋は支援物資の食料などを入れるのに使えた。自宅のカップ麺を避難所で配ることもできたが全員には配れないので、食料が少なかった最初の2日間ほどは逆にためらった。お湯もなかった＝長嶺小学校



西原村小森、植木生産業、大谷幸一さん(51) 地震のときは前後左右に激しく揺れ、どうなっているのか全くわからなかった。枕元に置いていた懐中電灯を探り当ててやっと状況がわかった。懐中電灯は手放さないようにすべきだ。地震直後は土ぼこりがすごい。マスクも備えておけば良かった。人力では撤去できないかたきを取り除くための重機が一日も早く欲しい＝大切畑地区の防災倉庫



西原村布田、無職、田屋マツコさん(86) 倒れてきたタンスなどが目を直撃した。やっこのことで外に出たが、履物がなくて裸足で移動した。手の届く場所に履物があった方がいいと思った。食事は足りており、睡眠も取れているが、手持ちの着替えが少なく不快感。洗濯しても干す所がなく、体育館の壁などに粘着テープで貼り付けて乾かしている＝西原中学校体育館